







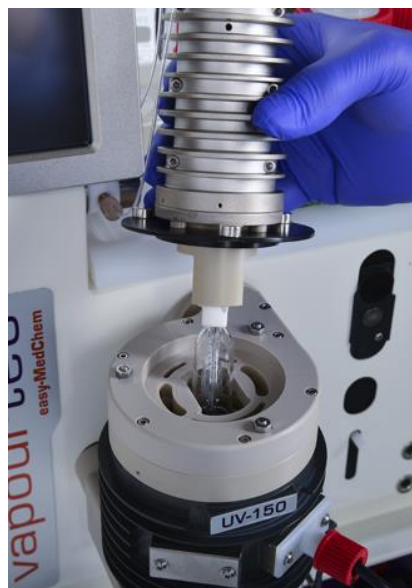




### 安全な操作のために連動

UV150内に収納された光源は完全に密閉されており、標準的な実験室のヒュームキャビネット内でUV-150を安全に操作できます。

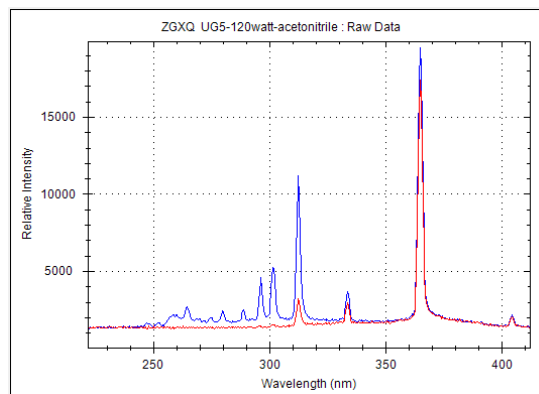
UV-150への電源はインターロックされており、ユーザーがランプの下でハウジングを分解しようとする状況下でも、システムから安全に電力が取り除かれます。



### リアルタイムスペクトルデータ

光化学反応を行うとき、試薬がさらされる波長とスペクトル強度を測定することは非常に有利です。異なる波長での反応物質による吸収の程度を測定することも重要です。

UV-150には、光ファイバプローブをクランプして分析用の分光計に光を送るための固定具が付属しています。ポートは、プローブが反応器をランプに向かって「見通す」ことができるように配置されています。このように、分光計を使用して、反応の実行中にリアルタイムでさえ、反応物の曝露の相対スペクトル強度を測定できます。Vapourtecは、必要に応じて適切な光ファイバプローブとCCD分光計を提供できます。



詳細はこちらをご覧ください [www.vapourtec.com](http://www.vapourtec.com) Tel : +44 ( 0 ) 1284 728659

メール : [info@vapourtec.com](mailto:info@vapourtec.com)